

地域コーディネーターの活動訪問記録



更新日：2013年6月28日

◇ 地域コーディネーターが地域の小学生を対象に子どもバザーを開きました



平成25年6月8日（土曜日）、堺市南区にある西原公園で行われた「みどりのつどい」で、地域コーディネーターが「子どもバザー」を企画しました。

近隣の小学校に呼びかけ、当日は100名を超える子どもたちが参加し、小さい頃に遊んだおもちゃなど、使わなくなったものを家から持ち寄り、バザーを開きました。

会場市の地域コーディネーターをはじめ、府内各地の地域コーディネーターが協力をしていました。

1. 子どもたちが自分のお店をひらく、「こどもバザー」

		
<p>受付を済ませたら、テントの周りで、家から持ってきたものを広げてお店の準備をします。</p>	<p>小さい頃に遊んで使わなくなったおもちゃや、人形、小物など、いろんな品物がありました。</p>	<p>お客さんは、地域の方々、子どもから大人までたくさんの方が買いに来ました。</p>

「子どもたちが自分で売ったり買ったりすることのできる場」

- ・この「こどもバザー」は2010年から始めて、今回で4年め。（2010年は雨のため中止になった）
- ・子どもたちが小さい頃に遊んだおもちゃなど、家から使わなくなったものを持ち寄ってお店を開く。
- ・お客さんは、「みどりのつどい」に来られた、地域の子どもや大人。
- ・「買うだけの参加」「お客様」になりがちなイベントにあって、「子どもが主体的になって運営する場所」を提供する。
- ・おもちゃ箱やマンガ等の不用品の整理を自分でする。
- ・「売る場所には「場所代」がかかる - 寄付をする - ボランティア精神が育成される」を子どもたちに楽しく経験させる。

「こどもバザーの約束」

- ・以下の約束を、事前のチラシに掲載している。当日、受付でも約束の確認を行う。
- ・商品は、売ってもいいかどうか家の人と相談して持ってくる。
- ・食べるものはダメ。

- ・ 売る値段は、1個200円まで。値段は自分で考えること。
- ・ 一人につき、ダンボール箱1個分まで。
- ・ ゲーム他コピー商品は売らないこと。
- ・ 売ったお金の10パーセントを世界中で困っている子どもたちのために、ユニセフに寄付する。

「売り上げの一部をユニセフに募金」

- ・ 帰りに。受付で売り上げを自己申告し、その10パーセントをユニセフに募金する。
- ・ 寄付した子どもたちに一人ずつ「寄付金領収書」を渡す。

「約30組、100名以上の子どもたちがお店側として参加」

- ・ 西原公園近隣の小学生から中学生までの子どもたちが出店。
- ・ 1人で参加する子、友達と一緒に参加する子、保護者と一緒に参加する子など、約30組、100名以上の子どもたち（保護者を含む）が出店。

2. 各地の地域コーディネーターが協力



		
<p>朝早くから、会場のある堺市だけでなく、各地の地域コーディネーターが集まって準備をしました。</p>	<p>さすが、府内各地のイベントのプロフェッショナルのみなさんです。会場中のテントを立てました。</p>	<p>準備が終われば、あとは受付を担当するだけ。お店やさんも、お客さんも「子どもたち」です。</p>

「Osakaきつずなー（大阪府地域コーディネーター連絡協議会）が協力」

- ・ 地域コーディネーターの一人が、みどりのつどい実行委員会に所属し、「こどもエリア（子どもが遊べるエリア）」を担当していた。
- ・ その地域コーディネーターは、「地域コーディネーター堺連絡会」や「Osakaきつずなー（大阪府地域コーディネーター連絡協議会）」のメンバーでもあることから、両団体にも参加してもらった。
- ・ 両団体は、みどりのつどいが始まった当初はこどもエリアの受付などを手伝っていたが、2010年から「こどもバザー」を開いている。（2010年は雨のため中止、2011年から現在まで続いている）
- ・ 「Osakaきつずなー（大阪府地域コーディネーター連絡協議会）」は、府が主催した養成講座を修了した、各地の地域コーディネーターが集まって、自己研鑽・交流の場として設立。
- ・ 当日は、会場のある堺市だけでなく、田尻町、摂津市、貝塚市の地域コーディネーターが参加。

「『みどりのつどい』は、市民活動団体の日頃の活動をPRするお祭り」

- ・ 「みどりのつどい」は、泉北ニュータウンで活動する団体の協働促進の場として、また、「民・官・学・産」の垣根を越えた連携を生み出す場としての役割を果たすことで、子どもたちが「住みたい」と言えるまちづくりを考えることを目的としている。
- ・ 大阪府教育委員会後援。

		
<p>元気な声で、「いらっしゃいませ！」子どもたちは、一生懸命お客さんに呼びかけていました。</p>	<p>売上げの10パーセントをユニセフに募金します。</p>	<p>バザー終了後、一人ひとり売上げを自己申告して、募金します。</p>

3. 近隣の小学校へ参加を呼び掛ける

「西原公園近隣の小学校にチラシ配布をお願い」

- ・近隣の小学校へチラシの配布をお願いする。
- ・チラシを見た子どもや保護者が当日参加。
- ・地元のタウン誌にも「みどりのつどい」および「こどもバザー」の記事が掲載されている。

活動の概要

1.実施日時

平成25年6月8日（土曜日） 10時から16時

2.実施場所

西原公園（堺市南区）

3.活動者

地域コーディネーター

このページの作成所属
[教育庁](#) [市町村教育室](#) [地域教育振興課](#) [地域連携グループ](#)



[1つ前のページに戻る](#)

[このページの先頭へ](#)

[ホーム](#) > [教育・学校・青少年](#) > [社会教育・教育コミュニティ・生涯学習](#) > [地域教育協議会「すこやかネット」](#) > [地域コーディネーターの活動訪問記録](#)

[お問合せ](#) [ユニバーサルデザインについて](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [このサイトのご利用について](#)

大阪府
 (法人番号
 4000020270008)

本庁 〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目 (代表電話) 06-6941-0351
 咲洲庁舎 〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 (代表電話) 06-6941-0351

[大阪府庁への行き方](#)